

データで見る! さっぽろ経済の動き

札幌の景気は、今どのような状況にあるのでしょうか？

「データで見るさっぽろ経済の動き」では、最近の札幌市や北海道の主な景気指標を時系列にまとめ、データやグラフを交えて、経済の動きを分かりやすくお伝えします。

◆◆◆ 目 次 ◆◆◆

1. 最近の札幌経済の概況	p. 1
2. 主要経済指標の動き	p. 2
(1) 個人消費の動向	p. 2
(2) 住宅着工の状況	p. 5
(3) 鉱工業の生産動向	p. 5
(4) 公共工事の動向	p. 6
(5) 雇用情勢	p. 6
(6) 倒産状況	p. 7
(7) 観光客の動向	p. 7
3. 札幌の産業規模のまとめ	p. 8
(1) 人口の動向	p. 8
(2) 事業所、従業員の動向	p. 10
(3) 市内総生産、市民所得	p. 11
(4) 企業の景況感	p. 12
【参考】主要経済指標	p. 13

1. 最近の札幌経済の概況

令和5年9月-令和5年10月の統計データをもとに、札幌経済の概況を総括しています。

(1) 主な経済指標の動向

項目	概要	前年同月データとの比較
個人消費の動向 (p.2~4)	・9月の百貨店・スーパー販売額(札幌市)は428億円で、19か月連続で前年同月を上回る(+5.3%)。	(百貨店・スーパー販売額) 407億円→428億円
	・9月のコンビニ、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンターの販売額の合計(北海道)は1,048億円で、22か月連続で前年同月を上回る(+6.4%)。	(コンビニ、家電、ドラッグストア、ホームセンター販売額) 985億円→1,048億円
	・9月の新車登録台数(札幌運輸局管内)は9,550台で、2か月連続で前年同月を上回る(+7.4%)。	(新車登録台数) 8,890台→9,550台
住宅着工の動向 (p.5)	・9月の新設住宅着工戸数は、1,342戸となり、3か月振りに前年同月を上回る(+9.0%)。	(着工戸数) 1,324戸→1,342戸
鉱工業の生産動向 (p.5)	・9月の鉱工業生産指数(北海道)は、81.9(季節調整済)となり、2か月振りに前月を下回る(▲1.3%)。	(生産指数: 季節調整済) 83.0→81.9 ※
公共工事の動向 (p.6)	・10月の公共工事請負額(石狩管内)は、112億円となり、2か月振りに前年同月を下回る(▲0.8%)。	(請負額) 113億円→112億円
雇用情勢 (p.6)	・10月の有効求人倍率(札幌圏)は、0.91となり、5か月連続で前年同月を下回る(▲0.08ポイント)。	(有効求人倍率) 0.99→0.91
倒産状況 (p.7)	・10月の企業倒産件数(札幌市)は、11件となり、前年同月から4件増加した。負債総額(札幌市)は、14億円となり、前年同月から9億円増加となる。	(倒産件数) 7件→11件
観光客の動向 (p.7)	・10月の来道客数(北海道)は118万人となり、24か月連続で前年同月を上回る(+13.7%)。	(来道客数) 104万人→118万人

※鉱工業生産指数は前月データとの比較

(2) 参考(他機関の概況判断)

項目	全国の動向	北海道の動向
	内閣府「月例経済報告」 (令和5年11月22日発表)	北海道経済産業局 「管内経済概況」 (令和5年11月20日発表)
全体	<u>このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している</u>	緩やかに持ち直している
個人消費	持ち直している	緩やかに改善している
住宅投資	弱含んでいる	弱い動きとなっている
設備投資	持ち直しに足踏みがみられる	増加している
生産	持ち直しの兆しがみられる	弱い動きとなっている
公共投資	底堅く推移している	増加した
雇用情勢	改善の動きがみられる	弱含んでいる
企業倒産	増加が見られる	<u>件数は減少、負債総額は増加した</u>
観光	—	改善している

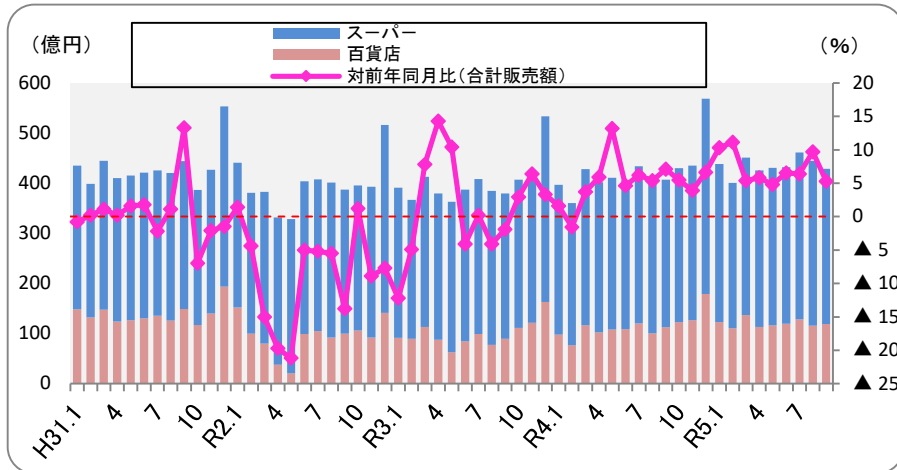
※下線部は、前月から変更となった部分

2. 主要経済指標の動き

個人消費、雇用状況、倒産の状況など、最近の主要経済指標の推移をご紹介します。

● 個人消費の動向（その1）

【図1】百貨店・スーパー販売額の推移（札幌市）9月分

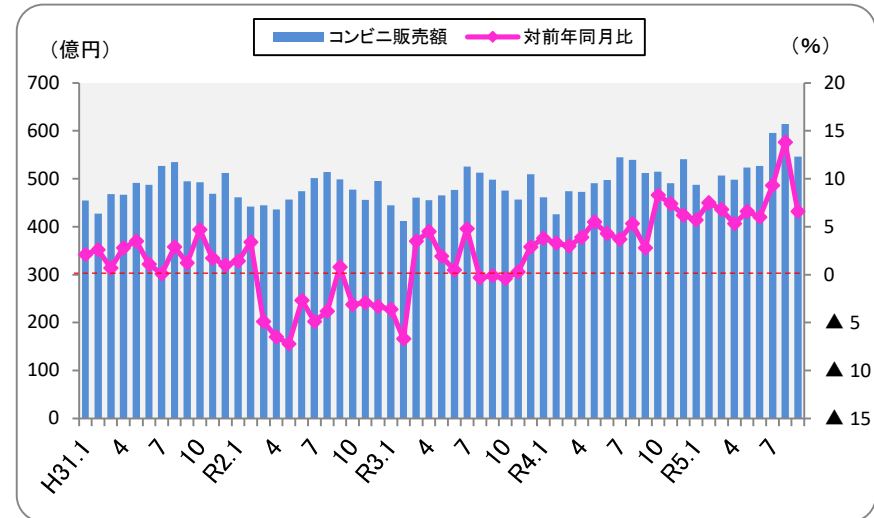


* 品目別百貨店・スーパー販売額前年同月比（札幌市）（%）

	合計				
	衣料品	身の回り品	飲食料品	その他	
合計	5.3	0.6	10.4	6.1	4.9
百貨店	5.5	2.8	9.7	9.4	3.5
スーパー	5.3	▲ 7.6	14.0	5.7	5.7

<資料>北海道経済産業局

【図2】コンビニ販売額の推移（北海道）9月分



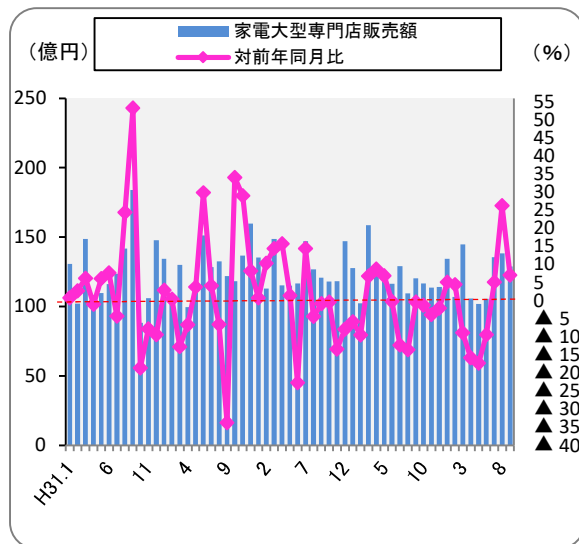
<資料>北海道経済産業局

- 令和5年9月の百貨店・スーパー販売額（札幌市）は428億円で、19か月連続で前年同月を上回りました（+5.3%）（図1）。業態別では、百貨店（+5.5%）、スーパー（+5.3%）とも前年同月を上回りました。品目別では、衣料品、身の回り品、飲食料品、その他全ての項目で前年同月を上回りました。
- 令和5年9月のコンビニエンスストア販売額（北海道）は546億円で、23か月連続で前年同月を上回りました（+6.6%）（図2）。

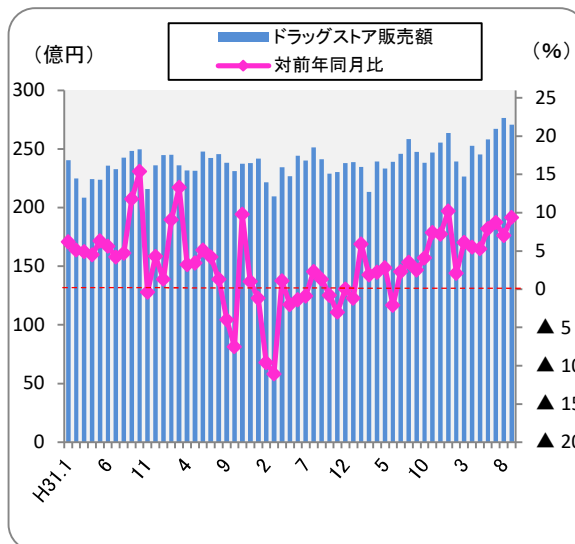
※百貨店スーパー販売額については、令和2年3月に対象事業所の見直しを行ったため、対前年同月比の数値調整を行っています。

● 個人消費の動向（その2）

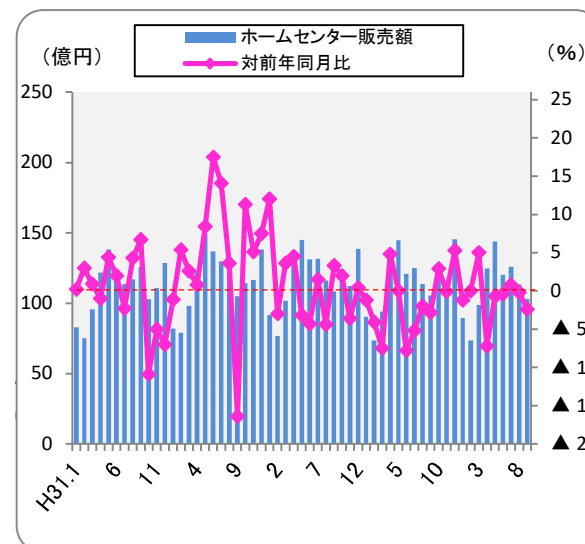
【図3】家電大型専門店販売額の推移（北海道）
9月分



【図4】ドラッグストア販売額の推移（北海道）
9月分



【図5】ホームセンター販売額の推移（北海道）
9月分

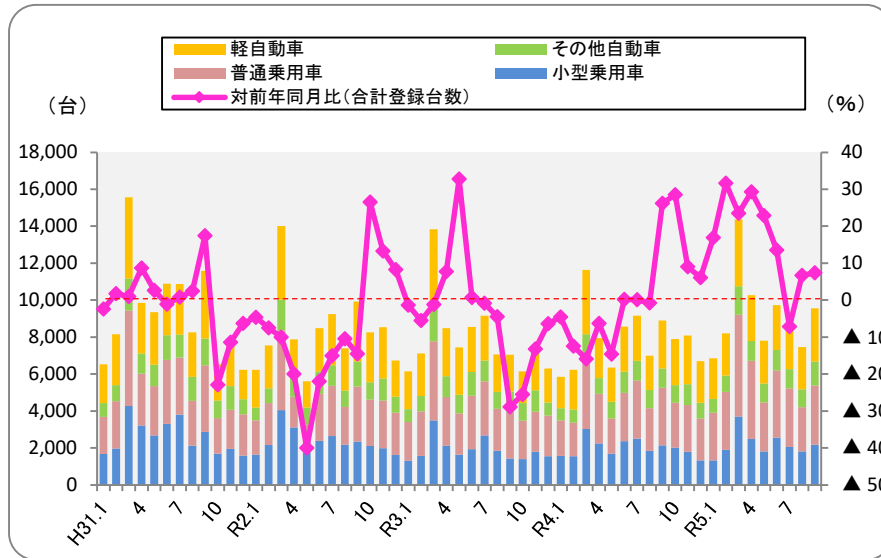


<資料>北海道経済産業局

- 令和5年9月の家電大型専門店販売額（北海道）は、129億円で、3か月連続で前年同月を上回りました(+7.1%)（図3）。
- 令和5年9月のドラッグストア販売額（北海道）は、271億円で、15か月連続で前年同月を上回りました(+9.4%)（図4）。
- 令和5年9月のホームセンター販売額（北海道）は、103億円で、2か月連続で前年同月を下回りました(▲2.4%)（図5）。

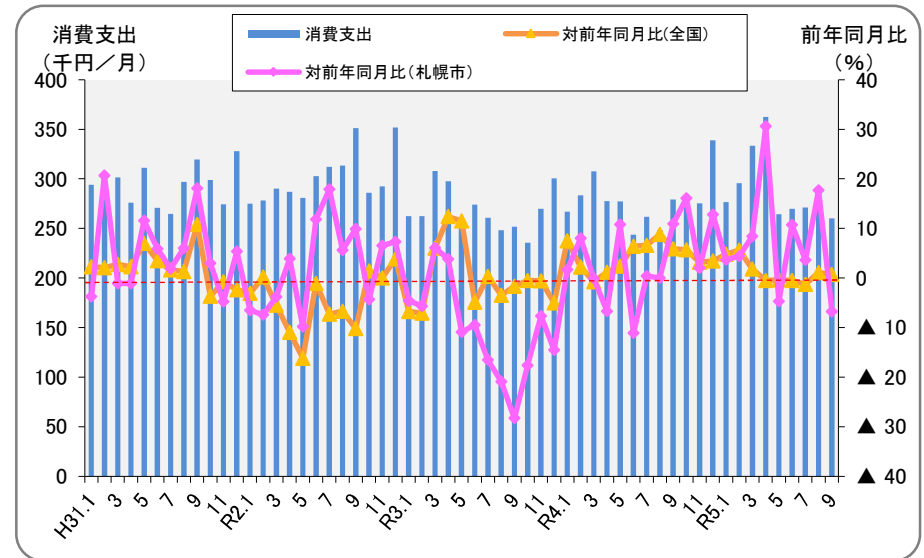
● 個人消費の動向（その3）

【図6】新車登録台数の推移(札幌運輸局管内)9月分



<資料> 自販連札幌支部、全国軽自動車協会連合会札幌地区事務取扱所

【図7】消費支出(札幌市) 9月分



集計世帯数
全国:7,267 札幌市91

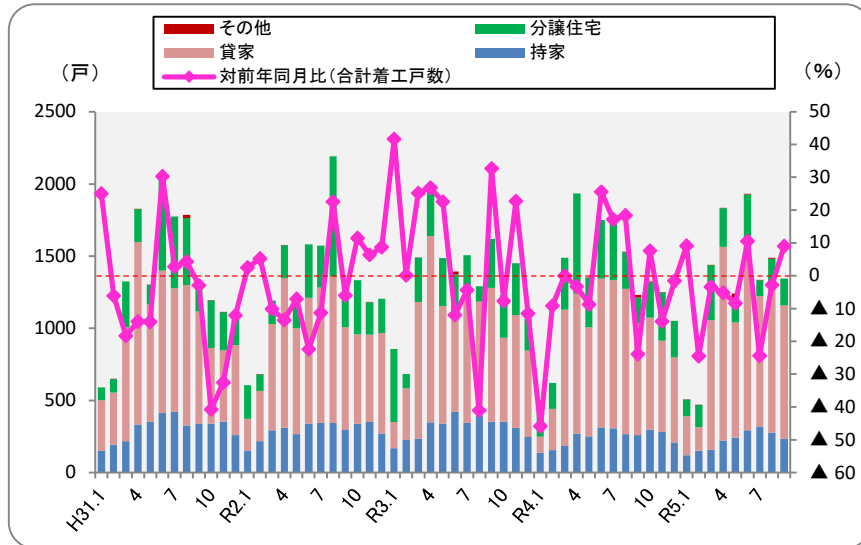
<資料> 総務省統計局「家計調査」

○令和5年9月の新車登録（届出）台数（札幌運輸局管内）は、9,550台となり、2か月連続で前年同月を上回りました（+7.4%）。車種別では、普通乗用車（+2.5%）、小型乗用車（+2.1%）、軽自動車（+10.9%）は前年同月を上回りました（図6）。

○令和5年9月の家計調査（総務省統計局）によると、一世帯当たり（二人以上の世帯）の消費支出は260,095円となり、前年同月から4か月振りに下降となりました（▲6.8%）（図7）。

● 住宅着工の動向

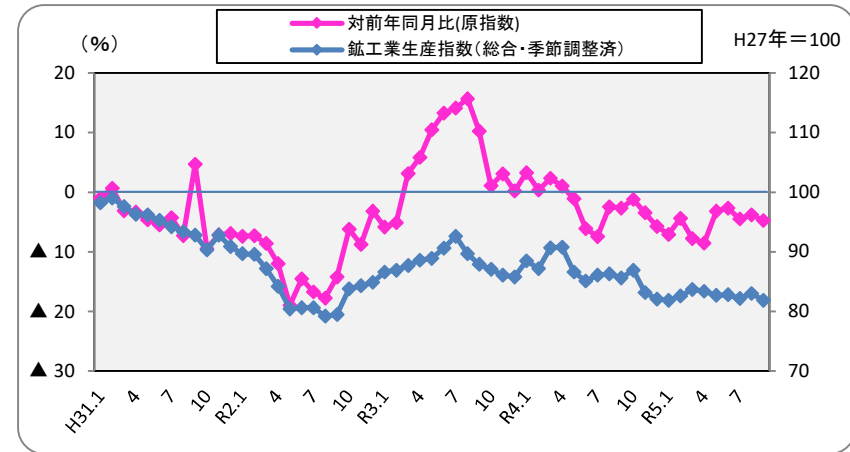
【図8】新設住宅着工戸数の推移(札幌市) 9月分



<資料>国土交通省

● 鉱工業の生産動向

【図9】鉱工業生産指数の推移(北海道) 9月分



* 主な業種別の前月に対する上昇・低下項目(北海道)

	業種	ウエイト(%)	季節調整済指数	前月比(%)
上昇	鉄鋼業	7.9	84.8	+ 5.6
	輸送機械工業	6.8	93.9	+ 5.3
	印刷業	4.1	62.8	+ 4.7
	化学・石油石炭製品工業	7.6	72.9	+ 1.0
	食料品工業	25.9	101.6	+ 0.9
下降	パルプ・紙・紙加工品工業	13.1	57.3	▲ 2.2
	金属製品工業	7.6	64.9	▲ 21.4

ウエイトは鉱工業生産指数(北海道)全体への影響の大きさを表すもの。
上記の7業種については、札幌市の製造業における付加価値額が大きいものから選定した。
<資料>北海道経済産業局

○令和5年9月の新設住宅着工戸数(札幌市)は1,342戸となり、3か月振りに前年同月を上回りました(+9.0%) (図8)。

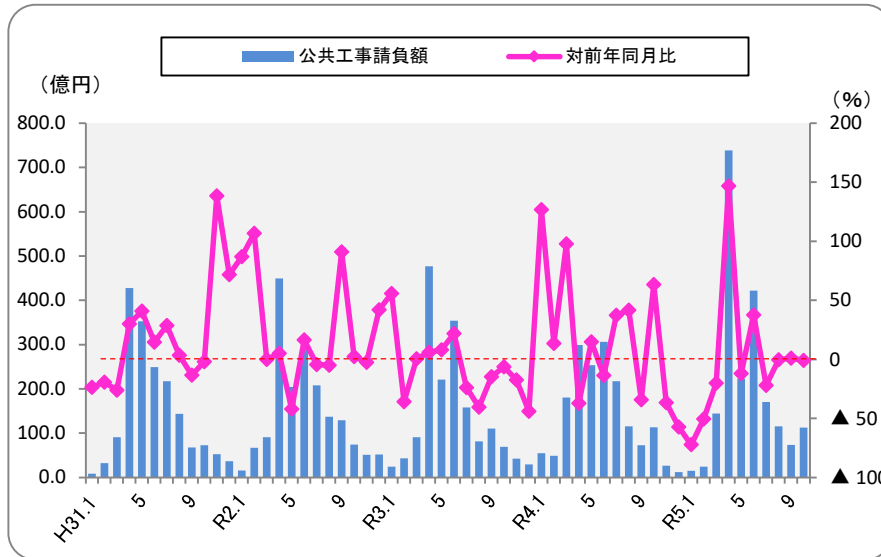
内訳は、持家が▲9.7%、貸家が+19.1%、分譲住宅は+2.8%でした。

○令和5年9月の鉱工業生産指数(北海道)は、81.9(季節調整済指数、速報値)となり、前月比▲1.3%と2か月振りに下回りました(図9)。

なお、前年同月比は▲4.8(季節調整を行わない原指数)と下回りました。

● 公共工事の動向

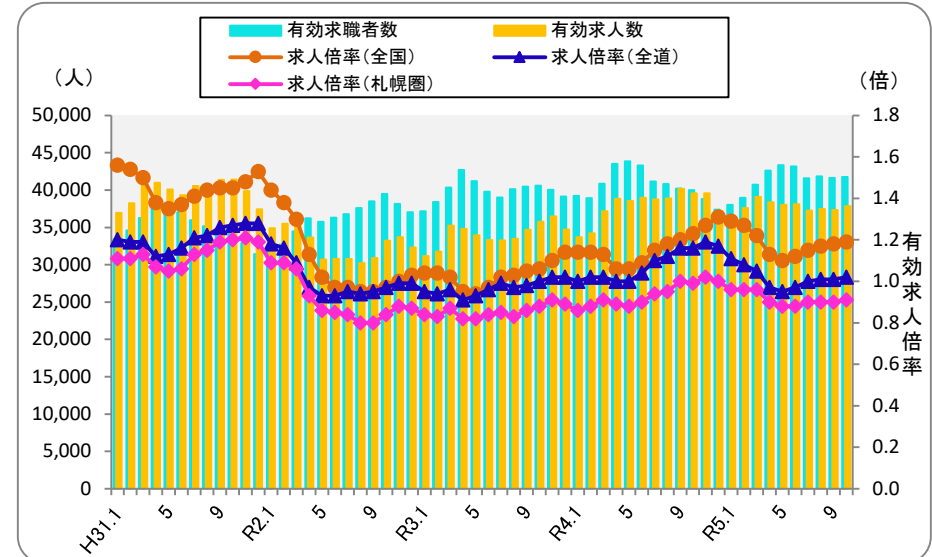
【図10】公共工事請負額の推移(石狩管内) 10月分



<資料>北海道建設業信用保証㈱

● 雇用情勢

【図11】求職・求人、有効求人倍率の推移(札幌圏) 10月分

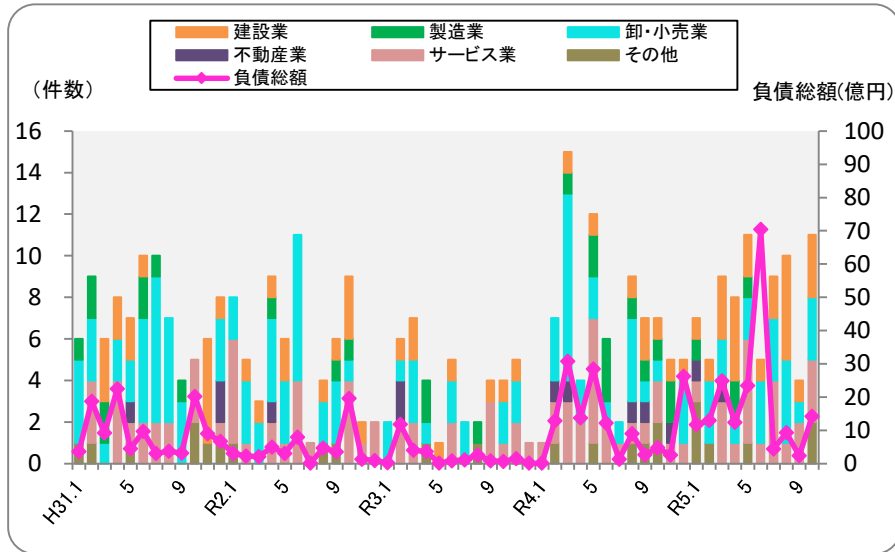


<資料>厚生労働省・北海道労働局
 ※札幌圏とは、札幌市、江別市、北広島市、石狩市(浜益区を除く)、当別町、新篠津村を指す。
 ※上記数値は、学卒を除き常用パートタイムを含む。

- 令和5年10月の公共工事請負額(石狩管内)は112億円となり、2か月振りに前年同月を下回りました。(▲0.8%) (図10)。
- 令和5年10月の有効求人倍率(札幌圏)は、0.91と、5か月連続で前年同月を下回りました(▲0.08ポイント) (図11)。
- 有効求人数は7か月連続で前年同月を下回りました(前年同月比▲4.4%)。また、有効求職者数は4か月連続で前年同月を上回りました(前年同月比+4.4%)。

● 倒産状況

【図12】企業倒産件数と負債総額の推移(札幌市)10月分



＜資料＞株式会社帝国データバンク
 ※会社更生法、民事再生法、破産法、特別清算による負債額1,000万円以上の法的整理が対象。

○令和5年10月の法的整理による企業倒産件数(札幌市)は11件で、前年同月から4件増加しました。負債総額は14億円で、前年同月から9億円増加となりました(図12)。

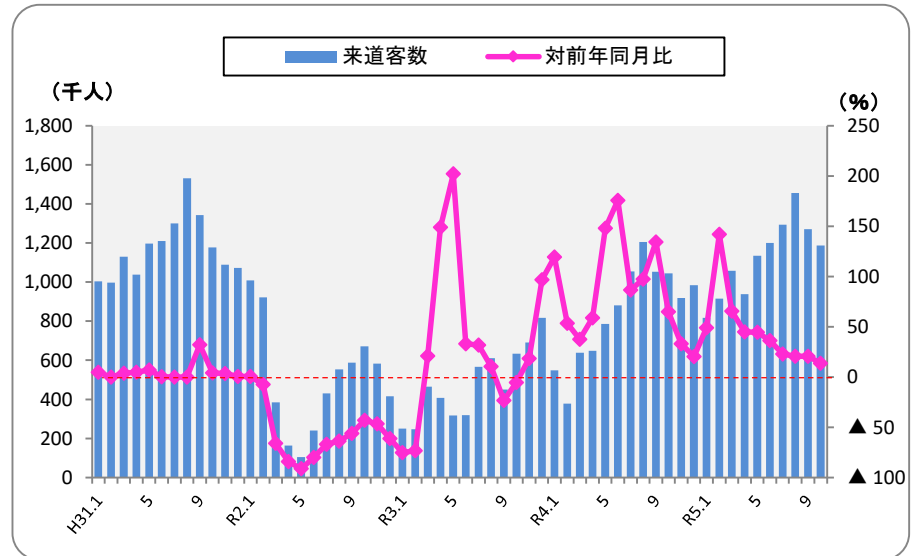
なお、負債額が10億円を超える大型倒産は0件でした。

○令和5年10月の来道者数(北海道)は118万人で、24か月連続で前年同月を上回りました(+13.7%) (図13)。

【参考】令和5年10月の外国人入国者数(新千歳空港)は9万人でした(図14)。

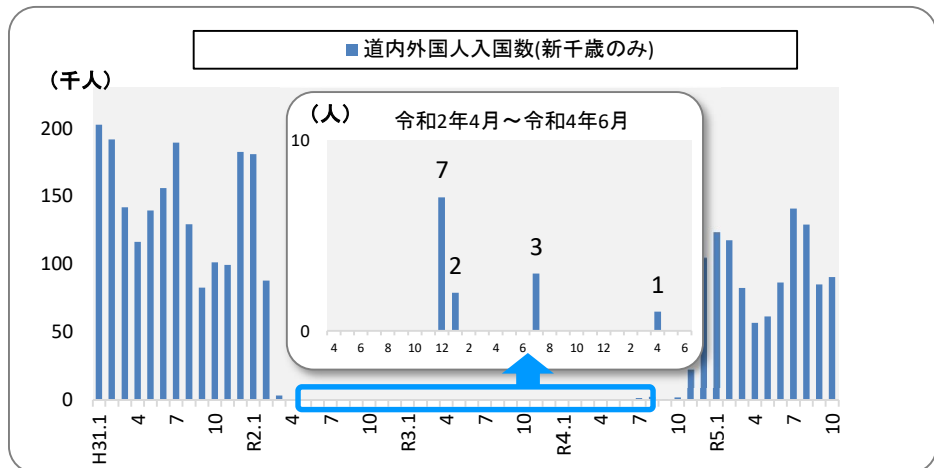
● 観光客の動向

【図13】来道者数の推移(北海道) 10月分



＜資料＞(公社)北海道観光振興機構

【図14:(参考)】外国人入国者数(新千歳空港)10月分



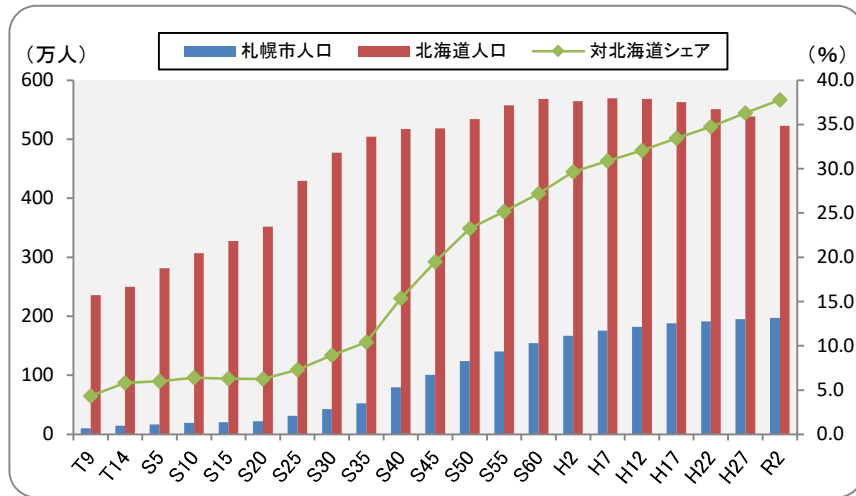
＜資料＞出入国管理統計統計

3. 札幌の産業規模

札幌の産業規模を、「人口」、「事業所数・従業者数」、「市内総生産」等の分野ごとに紹介します。

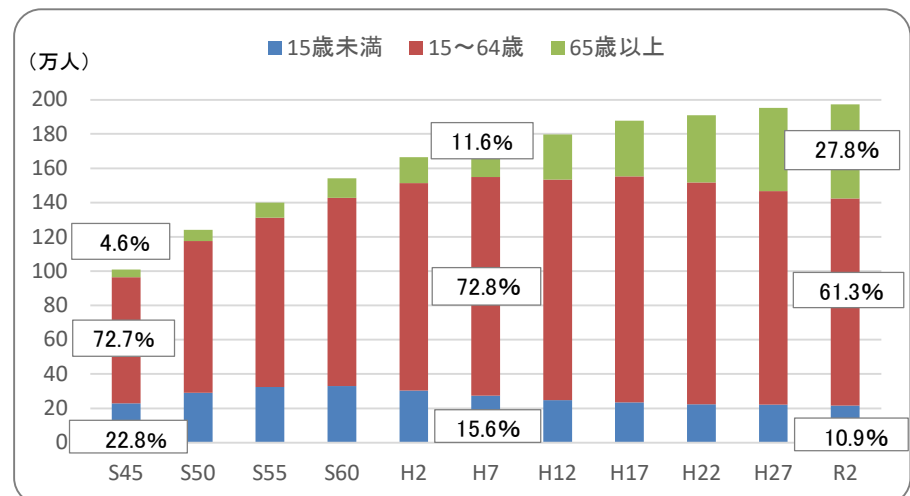
● 札幌市の人口

【図15】札幌市・北海道の人口の推移(外国人を含む)



<資料>総務省統計局「国勢調査」、北海道総合政策部地域行政局、札幌市まちづくり政策局政策企画部 (人口数は各年10月1日現在)

【図16】札幌市の年齢別人口の推移(外国人を含む)



<資料>総務省統計局「国勢調査」、札幌市まちづくり政策局政策企画部 (人口数は各年10月1日現在)

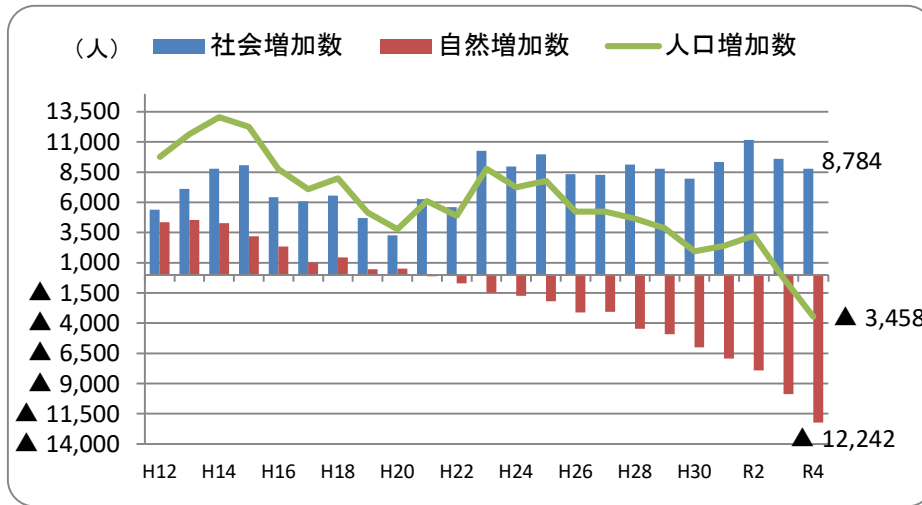
○国勢調査による5年毎の人口推移をみると、近年、札幌市は人口増加率が鈍化傾向にあります。また、札幌市の人口の対全道シェアは年々高まっており、令和2年は37.8%となっています(図15)。

○また、5年毎の年齢別人口の推移を見ると、65歳以上の人口の割合が増加する一方で、15歳~64歳の生産年齢人口の割合が減少する傾向が続いています(図16)。

3. 札幌の産業規模

札幌の産業規模を、「人口」、「事業所数・従業者数」、「市内総生産」等の分野ごとに紹介します。

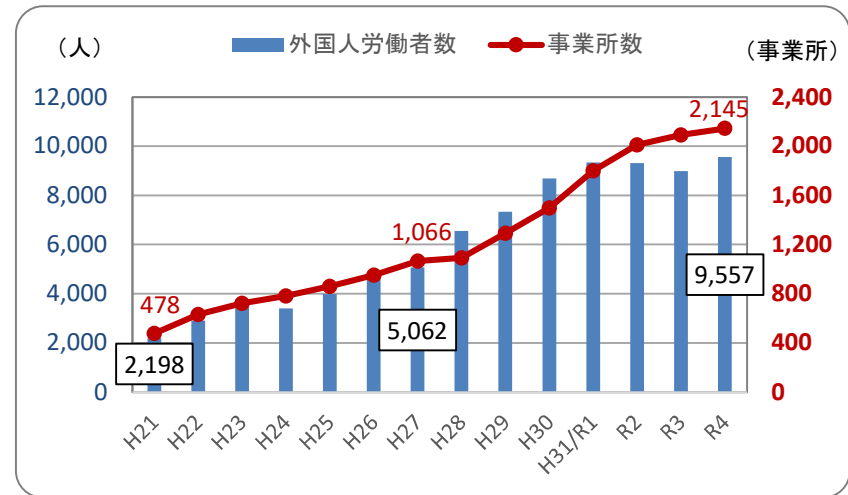
【図17】札幌市の人口動態の推移(日本人のみ)



<資料>札幌市住民基本台帳

● 札幌圏の外国人雇用状況

【図18】札幌圏の外国人雇用事業所数及び外国人労働者数



<資料>厚生労働省北海道労働局「外国人雇用状況の届出状況」(各年10月末現在)

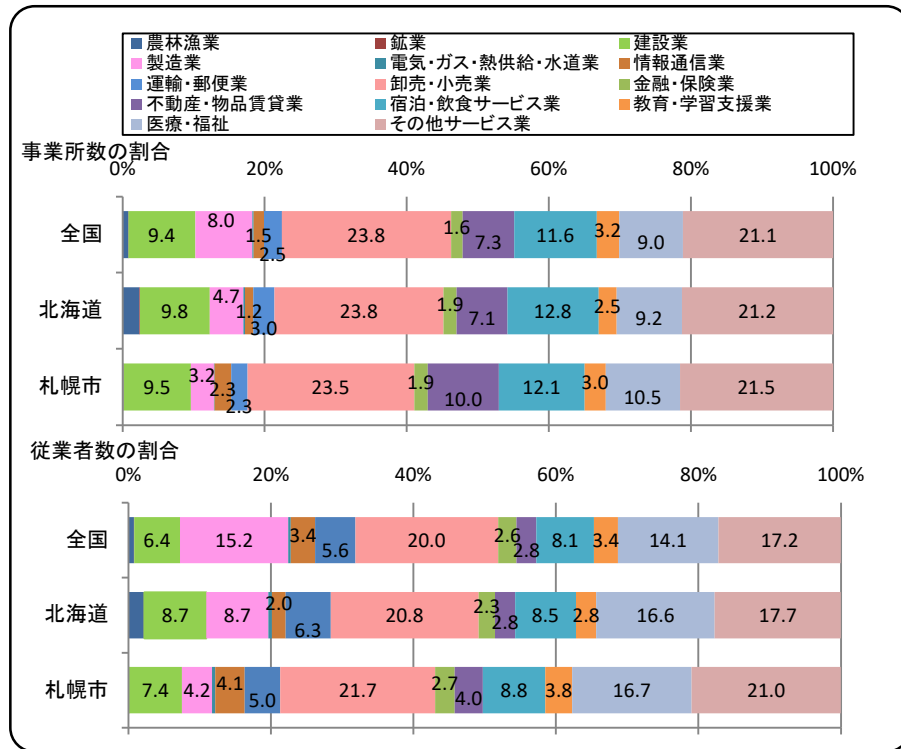
※札幌圏とは、札幌市、江別市、北広島市、石狩市(浜益区を除く)、当別町、新篠津村を指す。

○住民基本台帳による近年の人口動態の推移をみると、自然増加(出生-死亡)は平成21年からマイナスに転じており、少子化傾向が表れています。その一方、社会増加(転入-転出)は平成24年から概ね8千~9千人台の規模で推移しています。令和3年には自然減少数が社会増加数を上回ったことで人口減少に転じ、令和4年も自然減少数(▲12,242人)が社会増加数(+8,784人)を上回り、人口減少(▲3,458人)が進んでいます。(図17)。

○また、札幌圏の外国人雇用状況の推移をみると、近年、外国人雇用事業所数及び外国人労働者数はともに増加傾向にあり、外国人労働者数は令和2年、令和3年に減少しましたが令和4年は増加に転じ、過去最多(9,557人)となりました。(図18)。

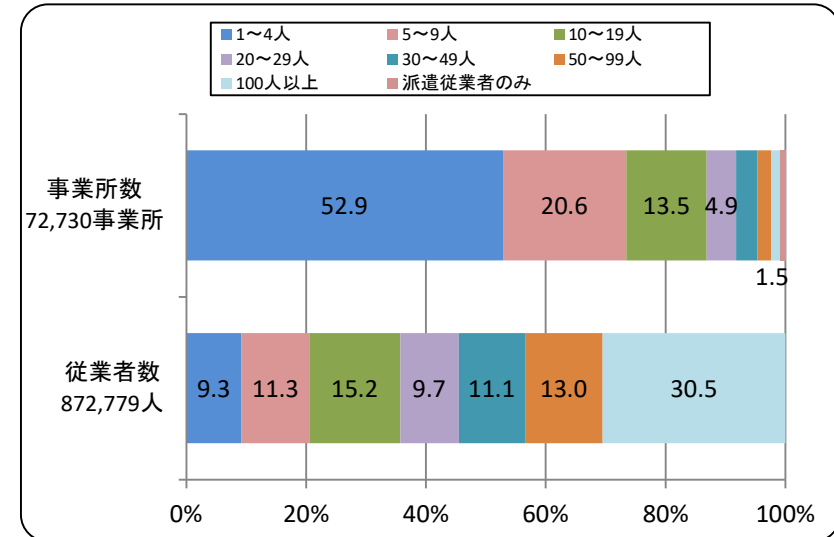
札幌市事業所数・従業者数

【図19】事業所数と従業者数の産業別内訳(民営)(令和5年6月27日現在)



<資料>総務省統計局 令和3年「経済センサス活動調査」

【図20】従業者規模別事業所数及び従業者数の割合(民営)(令和5年6月27日現在)



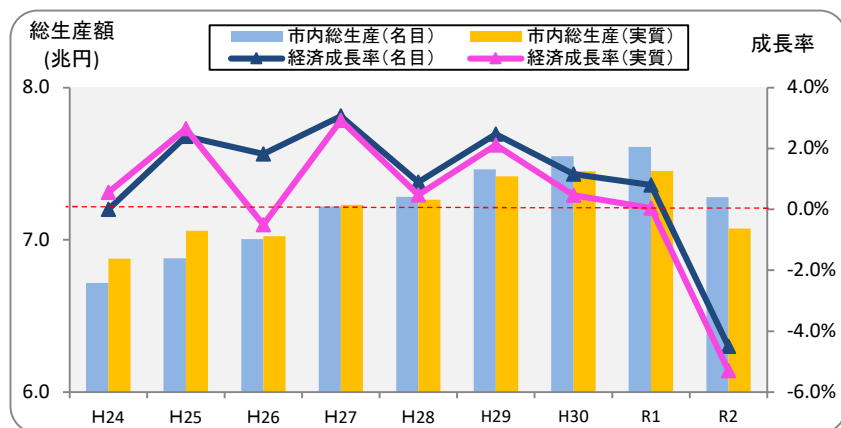
<資料>総務省統計局 令和3年「経済センサス活動調査」

○札幌市の産業構造は、事業所数、従業者数とともに、全国に比べて製造業などの2次産業の割合が低く、3次産業が中心となっています(図19)。

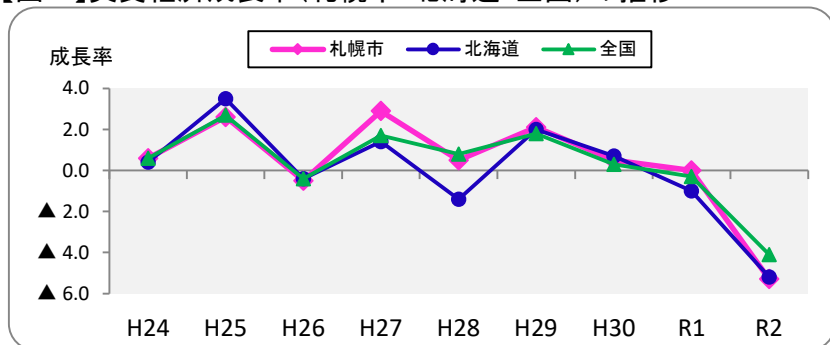
○従業者規模別に札幌市の事業所数をみると、従業者「1~4人」が全体の52.9%と半数以上を、事業所規模9人以下の事業所が、事業所全体の約4分の3を占めています。また、「100人以上」の事業所は、事業所数では事業所全体のわずか1.5%ですが、従業者数では約3割を占めています(図20)。

札幌の市内総生産・市民所得

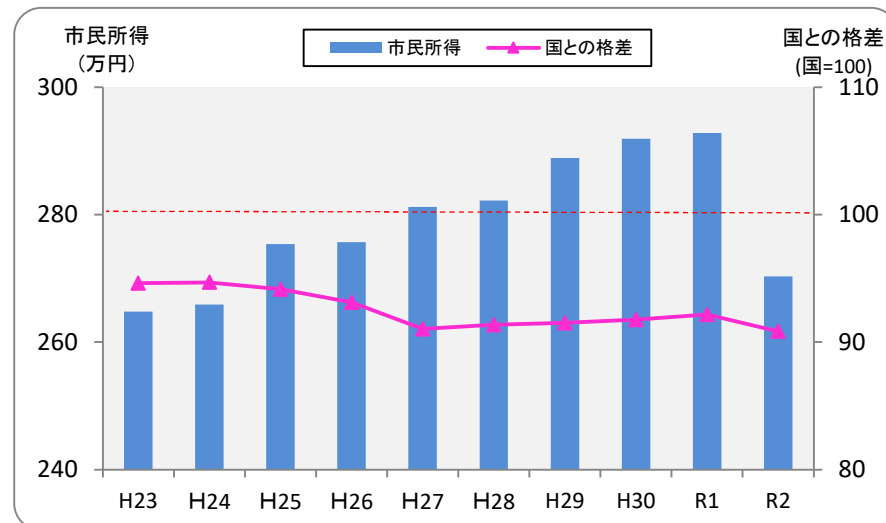
【図21】総生産額・経済成長率の推移



【図22】実質経済成長率(札幌市・北海道・全国)の推移



【図23】札幌市の一人当たり市民所得と国民所得との格差の推移

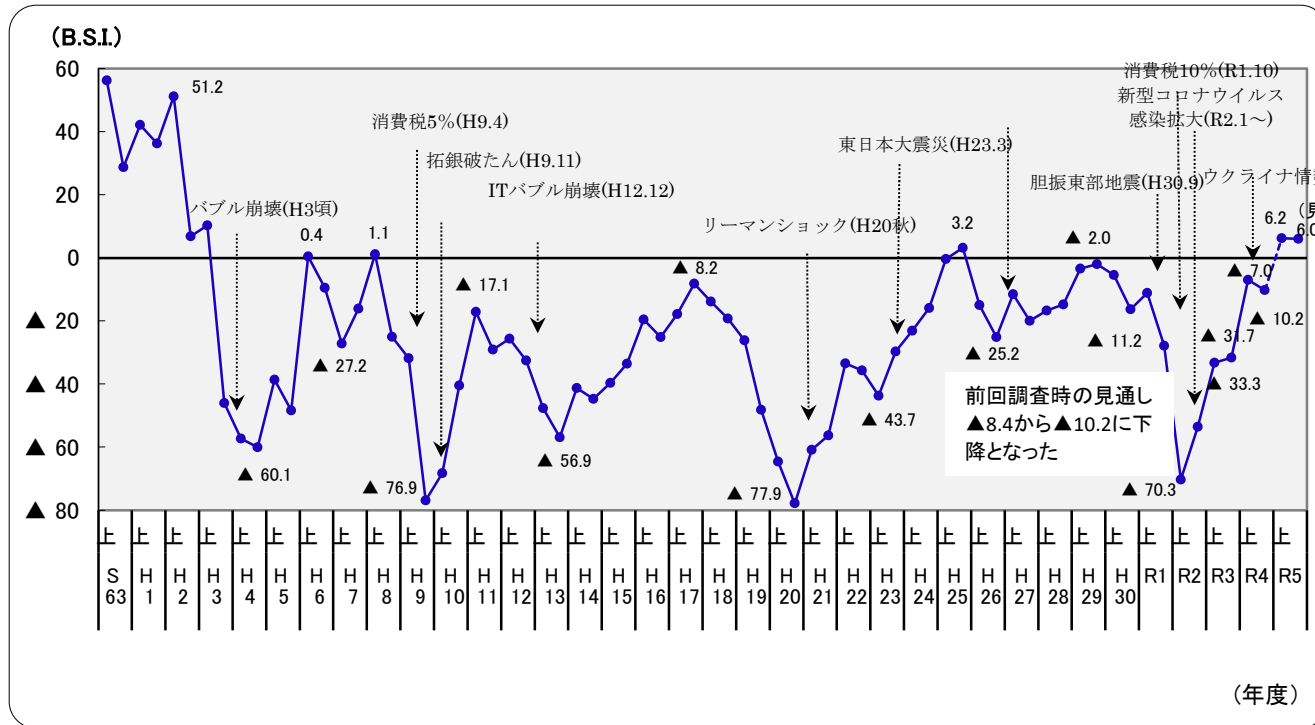


<資料>内閣府「令和2年度国民経済計算」、北海道「令和2年度道民経済計算」、まちづくり政策局政策企画部「令和2年度札幌市民経済計算」

- 令和2年度の札幌市の市内総生産は、名目7兆2,801億円（経済成長率▲4.5%）、実質7兆735億円（経済成長率▲5.3%）となりました。名目は平成24年度以降初のマイナス、実質は6年振りにマイナスとなっています（図21）。
- 令和2年度の実質経済成長率は、札幌市▲5.3%に対し、全道▲5.2%、全国▲4.1%となっております（図22）。
- 令和2年度の市民1人当たりの市民所得は、2,703千円で6年振りに減少（▲7.2%）となりました。また、札幌市の1人当たり市(国)民所得の対全国比(全国=100)は90.9で、前年度と比べて1.3ポイント下降しました（図23）。

● 市内企業の景況感

【図24】企業経営動向調査の結果



※B.S.I.(景況判断指数)
 景気が前期と比較して、「上昇している」と回答した企業の割合から「下降している」と回答した企業の割合を差し引いた数値。札幌市では、毎年度2回調査を実施している。

○令和5年度上期（R5年4月～R5年9月）の市内の景気について、令和4年度下期に比べて「上昇」とみる企業の割合（29.6%）から「下降」とみる企業の割合（23.4%）を減じた市内景況判断B. S. I. は、6.2であり、2期ぶりに上昇に転じました。（図24）。

○令和5年度下期（R5年10月～R6年3月）の市内の景気の見通しについて、今期に比べて、「上昇」とみる企業の割合（25.0%）から「下降」とみる企業の割合（19.0%）を減じた市内景況判断B. S. I.（見通し）は6.0となり、今期（6.2）から横ばいの見通しとなっています（図24）。

● 主要経済指標（その1）

	個人消費											新車登録台数 (札幌運輸局管内)	物価		家計調査					
	百貨店・スーパー販売額(札幌市) (平成27年6月まで大型小売店販売額)			コンビニ販売額 (北海道)				家電大型専門店販売額 (北海道)		ドラッグストア販売額 (北海道)			ホームセンター販売額 (北海道)		消費者物価指数 (札幌市)	名目消費支出(札幌市)	全世帯	労働者世帯		
	百貨店		スーパー																	
	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)									
(億円)	全店ベース	(億円)	全店ベース	(億円)	全店ベース	(億円)	全店ベース	(億円)	全店ベース	(億円)	全店ベース	(台)	前年比(%)	(R2=100)	前年比(%)	(円)	前年比(%)	前年比(%)		
平成21年	4,924	▲3.6	1,783	▲11.7	3,141	1.7	4,312	1.5					87,394	▲8.4		288,835	0.0	313,775	2.7	
22年	4,855	▲1.4	1,631	▲8.5	3,225	2.7	4,405	2.1					93,351	6.8		300,961	4.2	332,230	5.9	
23年	4,910	1.1	1,576	▲3.4		▲100.0	4,708	6.9					82,756	▲11.3		270,689	▲10.1	282,619	▲14.9	
24年	4,894	▲0.3	1,567	▲0.5	0	#DIV/0!	4,920	4.5					105,030	26.9		281,575	4.0	307,517	8.8	
25年	4,041	▲17.4	1,595	1.7	0	#DIV/0!	5,073	3.1					112,487	7.1		279,190	▲0.8	298,615	▲2.9	
26年	1,615	▲60.0	1,615	1.3	0	#DIV/0!	5,248	3.4	1,432	—	2,098	—	1,317	—		114,763	2.0	285,154	2.1	
27年	1,616	1.3	1,616	0.0	0	#DIV/0!	5,420	3.3	1,353	▲5.5	2,237	6.9	1,311	▲0.4		106,026	▲7.6	272,124	▲4.6	
28年	1,584	0.9	1,584	▲2.0	0	#DIV/0!	5,523	1.9	1,368	1.1	2,402	7.4	1,301	▲0.8		106,936	0.9	97.2	▲0.5	
29年	1,657	2.3	1,657	4.6	0	#DIV/0!	5,628	1.9	1,412	3.2	2,525	5.0	1,300	▲0.1		115,520	8.0	98.2	1.0	
30年	2,244	35.4	1,667	0.6	0	#DIV/0!	5,710	1.5	1,437	1.8	2,624	3.9	1,337	2.8		111,563	▲3.4	99.8	1.6	
31年/1年	1,670	▲25.6	1,670	0.2	0	#DIV/0!	5,826	2.0	1,505	4.7	2,783	6.0	1,329	▲0.6		111,284	▲0.3	100.3	0.5	
2年	4,771	185.6	1,125	▲32.6	3,645	#DIV/0!	5,657	▲2.9	1,529	1.6	2,869	3.1	1,393	4.9		99,763	▲10.4	100.0	▲0.3	
3年	4,832	1.3	1,190	5.7	3,642	▲0.1	5,694	▲0.6	1,523	▲0.4	2,809	▲2.1	1,398	0.3		94,639	▲5.1	99.9	▲0.1	
4年	5,082	5.2	1,370	15.2	3,712	1.9	5,967	4.8	1,458	▲4.3	2,891	2.9	1,378	▲1.4		94,263	▲0.4	102.9	3.1	
2年1月	441	1.4	152	2.3	289	#DIV/0!	461	1.4	134	2.9	245	1.7	82	▲1.1		6,222	▲4.7	100.9	0.8	
2年2月	381	▲4.4	100	▲24.9	282	#DIV/0!	442	3.4	103	0.8	245	9.0	79	5.1		7,534	▲7.5	100.6	0.8	
2年3月	383	▲15.0	80	▲45.7	303	0.0	445	▲4.9	130	▲12.7	236	13.3	98	2.6		14,003	▲10.0	100.7	0.8	
2年4月	332	▲19.7	38	▲69.4	294	1.0	436	▲6.5	100	▲6.7	232	3.2	123	0.8		7,873	▲20.0	100.3	▲0.2	
2年5月	329	▲21.2	21	▲83.8	308	#DIV/0!	456	▲7.2	114	3.8	231	3.4	150	8.4		5,605	▲40.0	100.2	▲0.5	
2年6月	404	▲5.0	99	▲24.1	305	#DIV/0!	474	▲2.7	151	29.9	248	5.1	137	17.5		8,486	▲22.0	100.0	▲0.5	
2年7月	408	▲5.2	105	▲22.5	303	#DIV/0!	501	▲4.9	128	4.1	242	4.2	130	14.1		9,232	▲15.1	99.5	▲0.7	
2年8月	401	▲5.5	92	▲26.5	309	#DIV/0!	514	▲3.8	133	▲6.6	246	1.3	121	3.6		7,386	▲10.5	99.7	▲0.4	
2年9月	387	▲13.8	100	▲33.1	288	#DIV/0!	499	▲0.8	122	▲33.8	238	▲4.0	105	▲16.4		9,910	▲14.5	99.6	▲0.6	
2年10月	396	1.2	106	▲9.0	290	#DIV/0!	478	▲3.1	118	34.1	231	▲7.5	114	11.3		8,245	26.5	99.4	▲1.0	
2年11月	393	▲8.9	92	▲34.4	301	#DIV/0!	456	▲2.9	137	29.0	237	9.8	117	5.1		8,531	13.3	99.4	▲1.2	
2年12月	516	▲7.7	141	▲27.2	375	#DIV/0!	495	▲3.3	160	8.2	238	1.0	138	7.5		6,736	8.2	99.6	▲1.3	
3年1月	391	▲12.2	91	▲40.0	300	4.0	445	▲3.6	135	0.8	242	▲1.2	92	12.0		6,135	▲1.4	99.8	▲1.1	
3年2月	366	▲4.9	90	▲10.1	277	▲1.6	412	▲6.7	113	9.8	222	▲9.5	77	▲2.8		7,117	▲5.5	99.7	▲0.9	
3年3月	413	7.8	113	41.1	300	▲1.0	460	3.5	149	14.5	210	▲11.1	102	3.6		13,830	▲1.2	100.0	▲0.7	
3年4月	380	14.3	88	131.8	290	▲0.8	455	4.5	115	15.8	231	1.1	128	4.5		8,477	7.7	99.2	▲1.1	
3年5月	363	10.4	62	201.6	301	▲2.4	465	1.9	115	1.4	224	▲2.0	145	▲3.2		7,439	32.7	99.5	▲0.7	
3年6月	388	▲4.1	85	▲14.3	303	▲0.7	477	0.5	117	▲22.7	244	▲1.4	131	▲4.3		8,547	0.7	99.6	▲0.4	
3年7月	408	0.2	99	▲5.4	309	2.1	526	4.8	147	14.5	240	▲0.9	132	1.5		9,146	▲0.9	99.9	0.3	
3年8月	385	▲4.1	77	▲16.1	307	▲0.6	513	▲0.3	127	▲4.4	251	2.3	116	▲4.4		7,050	▲4.5	99.9	0.2	
3年9月	380	▲1.9	89	▲10.3	290	1.0	498	▲0.1	121	▲0.8	241	1.3	108	3.3		7,044	▲28.9	100.2	0.6	
3年10月	407	2.9	111	4.7	296	2.2	476	▲0.4	118	▲0.1	229	▲0.8	117	2.0		6,143	▲25.5	100.0	0.6	
3年11月	418	6.4	121	31.8	297	▲1.3	457	0.3	118	▲13.4	230	▲3.0	112	▲3.6		7,407	▲13.2	100.3	0.9	
3年12月	533	3.3	163	15.5	370	▲1.4	510	2.9	147	▲7.9	238	0.0	139	0.4		6,304	▲6.4	100.5	0.8	
4年1月	397	1.6	98	7.3	299	▲0.2	461	3.8	128	▲5.8	239	▲1.2	91	▲1.2		5,850	▲4.6	100.5	0.7	
4年2月	361	▲1.6	77	▲13.8	283	2.3	426	3.3	102	▲9.5	235	5.9	74	▲4.1		6,228	▲12.5	100.9	1.2	
4年3月	428	3.7	116	2.9	311	4.0	474	3.0	159	6.8	214	1.9	94	▲7.5		11,626	▲15.9	101.5	1.5	
4年4月	402	5.9	102	16.6	300	2.7	473	3.9	126	8.8	239	2.2	134	4.8		7,945	▲6.3	102.2	3.0	
4年5月	411	13.2	108	73.2	303	0.8	491	5.5	123	6.9	233	2.8	145	▲0.0		6,353	▲14.6	102.7	3.2	
4年6月	406	4.6	108	28.0	297	▲1.9	497	4.3	117	▲0.2	239	▲2.1	121	▲7.8		8,563	0.2	102.7	3.1	
4年7月	433	6.2	120	20.4	314	1.6	545	3.7	129	▲12.3	246	2.3	125	▲5.2		9,159	0.1	103.2	3.3	
4年8月	405	5.4	100	29.4	305	▲0.7	540	5.3	109	▲13.6	258	2.8	114	▲2.0		6,994	▲0.8	103.3	3.4	
4年9月	407	7.1	112	25.6	295	1.5	512	2.8	120	▲0.4	247	2.5	105	▲2.8		8,890	26.2	103.9	3.6	
4年10月	430	5.5	123	10.4	307	3.6	515	8.3	117	▲1.2	238	4.1	119	2.1		7,896	28.5	104.0	4.0	
4年11月	435	3.9	127	4.5	308	3.7	491	7.4	114	▲3.9	247	7.4	112	▲0.5		8,071	9.0	105.1	4.8	
4年12月	568	6.6	179	9.8	389	5.1	541	6.2	114	▲22.4	255	7.2	146	4.9		6,888	6.1	105.3	4.8	
5年1月	438	10.3	123	25.3	316	5.4	488	5.7	134	5.2	263	10.2	89	▲1.2		6,841	16.9	105.5	5.0	
5年2月	400	11.1	111	43.4	290	2.3	458	7.5	107	4.5	240	2.1	74	0.0		8,198	31.6	104.8	3.8	
5年3月	451	5.4	137	17.9	314	0.8	507	6.8	145	▲8.9	226	6.1	99	5.0		14,359	23.5	105.0	3.4	
5年4月	425	5.8	113	10.7	312	4.2	498	5.3	106	▲15.8	253	5.5	125	▲7.2		10,270	29.3	106.0	3.6	
5年5月	431	4.8	116	8.1	314	3.7	523	6.6	102	▲17.3	245	5.3	144	▲0.7		7,807	22.9	106.2	3.5	
5年6月	432	6.5	119	9.8	313	5.2	527	6.0	106	▲9.4	258	7.9	120	▲0.4		9,719	13.5	106.6	3.9	
5年7月	461	6.4	128	7.5	333	6.1	596	9.3	136	5.2	267	8.7	126	0.8		8,503	▲7.2	107.0	3.7	
5年8月	445	9.7	115	15.2	329	7.9	614	13.8	138	26.3	276	7.0	114	▲0.2		7,460	6.7	107.4	4.0	
5年9月	429	5.3	119	5.5	310	5.3	546	6.6	129	7.1	271	9.4	103	▲2.4		9,550	7.4	107.8	3.8	
資料																				

※百貨店・スーパー販売額については、令和3年3月に調査対象事業所の見直しを行ったため対前年同月比の数値調整を行っています。

※表中の一部の数字は速報値であるため、のちに発表される確報値と若干異なる場合があります。

※四捨五入の関係で、月別の値と年合計の値が合致しない場合があります。

※消費者物価指数については、令和3年7月分データから、基準年が平成27年から令和2年に改定となっています。

